

総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会 議事概要

- 日 時 平成29年11月30日（木）10：00～10：05
- 場 所 中央合同庁舎第8号館 8階特別大会議室
- 出席者 久間議員、原山議員、上山議員、十倉議員、山極議員
山脇政策統括官、進藤大臣官房審議官、生川大臣官房審議官、
黒田大臣官房審議官、柳大臣官房審議官、室谷参事官、板倉企画官

〔議事概要〕

議題1. 国家的に重要な研究開発の評価結果

○原山議員 皆様、おはようございます。

総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会を開催致します。

本日、小谷議員と内山田議員、橋本議員が御欠席です。

議題は1件です。国家的に重要な研究開発の評価結果についてということで、公開として開催致します。

板倉企画官から説明をお願い致します。

○板倉企画官 それでは、資料「シ斯基ー1」を御覧頂きたいと思います。

今回、評価専門調査会において、2件の大規模研究開発につきまして、その評価に係る調査検討を行い、評価結果案として取りまとめたものです。

まず1件目ですが、経済産業省の高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発事業の事前評価です。

実施期間は、来年度から平成39年度までの10年間を予定しており、来年度の予算要求額としては100億円、事業全体として700億円を見込んでいる事業となっております。

概要については、Connected Industriesを通じたSociety 5.0の実現に向けて、今後爆発的に増加するデータを、低消費電力で効率よく処理する次世代的なコンピューティング技術を開発するというものです。

その主なエッジコンピューティング、次世代コンピューティングに係る説明資料を2ページ目に参考資料として付けております。

事前評価の結果としては、実施府省での評価結果についての妥当性を確認した形で行わせて頂きました。

その結果としては、総合評価として、本技術開発はSociety 5.0の実現を支える重要な技術開発、基盤技術であり、我が国の産業競争力の維持・強化に貢献することが大いに期待され、国として主導的に取り組むべきとさせて頂いております。

主な指摘事項としては、政府全体として整合性を持って推進していく観点から、PRISMやIMPACT等との関連する研究開発との連携の下で行われるべき。また、我が国産業の育成・強化に向けた戦略や道筋をより明確にして進めていくことが必要。また、SIPやIMPACTで採用するイノベーション創出の加速や挑戦的な研究開発を推進する制度や、人材や中小・ベンチャー企業を育成する観点から、研究開発マネジメントをすべきと、主にこのような点を指摘させて頂くことにしております。

続いて2件目は、これも経済産業省が実施しています、石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業です。こちらは中間評価となります。

本事業は、平成24年度から実施しておりまして、平成33年度までを予定しております。

平成29年度までは、国費と民間合わせて総事業費822億円ほど、30年度としても133億円を予定しているものです。

事業の概要としましては、石炭ガス化複合発電とCO₂分離・回収、燃料電池を組み合わせた高効率な石炭火力発電システムを確立するというものです。

今回は、来年度から燃料電池発電システムの開発に着手するというので、その中間評価を行わせて頂いたものです。

中間評価の結果の概要としては、こちらについても実施府省での評価結果の妥当性を確認させて頂き、エネルギー基本計画、地球温暖化対策計画等の目標達成に向けて、当初目標を達成してきており、今後の実施計画も概ね妥当、今、検討が開始されています次期エネルギー基本計画における石炭火力の位置付けを踏まえて、本事業の目標や実施計画を柔軟に見直すことが必要という総合評価をさせて頂いております。

主な指摘事項としては、他の技術開発と連動して、プロジェクト全体としての効果を発揮して推進すべきという点と、先行する空気吹IGCC等、他の先端技術のすみ分けを含めた戦略の下で海外の事業展開を図るべきという2点について、指摘をさせて頂いております。

今後の石炭火力の需要の見通しや、技術ロードマップについて4ページ目に参考資料を付けております。

概要は以上です。評価結果としては、報告書の形をとらせて頂き、今回、机上には配付させていただいてはおりませんが、御希望であれば事務局にお申しいただければ個別に配付させていただきます。

次回の総合科学技術・イノベーション会議において、本評価結果について審議・決定を頂きたいと思っております。

以上です。よろしくお願い致します。

○原山議員 有難うございました。

1件目は、国の研究開発評価に関する大綱的指針を改定してから初めて事前評価を行うもので、もう1件は中間評価です。コメント、御意見、御質問ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

次は総合科学技術・イノベーション会議という流れになりますので、よろしくお願いいたします。

これをもちまして、本日の会議、これで終了致します。

以上